

2. 公民館・児童館等による

地域活動としての子ども農業・農村体験

1) 砺波市立林公民館による

地域の子どもたちを対象にした農業体験「土の子会」

◆活動主体について

公民館活動は戦後混乱期を乗りきり、また明るい社会をつくるため昭和25年頃から開始。全国各地の公民館を拠点に青年団や婦人会などがさまざまなレクリエーションや奉仕活動を行ってきた。林公民館もそのひとつであるが、現在も地域のなかで自主的に活発に活動を継続。地域になくってはならない存在となっている。

林公民館は富山県西部、砺波平野の中心に位置する散居村とチューリップで有名な田園都市砺波市内の社会教育活動をリードする公民館である。

林公民館の合言葉は「よい土地（地球環境）」「よい華（農商工生産）」「よい人たち（教育）」。現在は総務部、文化部、体育部、広報部、ふるさと部の5つの部会に分かれて活動をしている。「土の子会」は地区内の歴史を訪ねる「歩こう会」とともにふるさと部会に属し、水田など地域の豊かな自然を活用して子どもたちに自然に触れてもらおうと発足された。

◆取り組みの経緯

「子どもたちを人の子らしく育て、将来を担う人づくりをしよう」「人は大地に育つ。太陽のもと、土、水、動植物と直接ふれあうなかで、大切な感性が育つ」はずだと、地域の有志から6.5 aの水田と12 aの転作田を借り上げ、平成10年、「ふれ愛はやし農場」を開設。「土＝自然」「子＝人」から、会の名称は「土の子会」とした。

活動を開始するにあたっては、地域の北部小学校に10年ほど前から学校田があり、農作業の経験のある子どももいることを考慮した。初年度は地区全戸1,000軒にチラシを配布。毎年、大人、小学生、幼児、計100人程度が参加して

いる。

活動を支援する土の子会のスタッフはすべてボランティア。他の部会と掛け持ちしている人も多い。また、公民館のスタッフはイベントなどで人手が必要なときは部会に関係なく集まってくれるという。子どもがいない人も参加。子どもたちの祖父母世代の人は縄ないや竹トンボづくりなど昔ながらの手技も披露してくれる。

◆活動の概要

公民館活動は地域のあらゆる団体や機関の連携・協力が不可欠である。まず、農作物の栽培は地区の農協であるJAとなみ野林支店に協力を依頼。指導を仰いでいる。また、学校に教育計画との調整も依頼し、子どもたちが参加しやすいように配慮。さらに親子参加が可能になるように地域の諸機関との連絡調整にも努めた。この点が土の子会の活動の大きなポイントといえる。公民館の向かいに小学校と幼稚園があるという立地のよさも見逃せない。

小学校と全面的にタイアップしたのは平成12年度からだ。これは地域で子どもたちの奪い合いをすることなく、自然に子どもが活動に参加できる環境をつくろうという配慮からだという。ちなみに土の子会の所属している「ふるさと部会」のなかの「歩こう会」も地域の昔を子どもたちに伝えたいという思いからスタート。収集した昔話は子どもたちの描いた絵を添えて『林のむかし話』（砺波市立林公民館刊）として一冊にまとめられている。

土の子会の活動のねらいは、子どもたちが農作業のなかで「育てる喜び」「収穫の喜び」「採れた作物を使って何かをつくりだす喜び」を体で感じることである。水田では昔ながらの農具を使い、米づくりの苦労と育てる喜びを味わうとともに、道具の進歩やお米の大切さを学ぶ。畑では肥料・農薬・水やり、除草の作業のなかで日々、成長する作物を愛で、収穫し、それを調理し、食体験に結びつけている。活動のなかでは「小昼（こびる）」（作業の合間の軽い食事）という農村の習慣も復活させた。

12年度からは田んぼの借り上げを増やし、小学校は「かがやき園」、幼稚園は「ルンルン園」、公民館は「ふれ愛農園」、これらを一括して「ふれ愛農場」と

称し、再出発した。

子どもたちの活動は原則として土曜日なので、ふだんの田畑の管理は地域の人たちの応援が不可欠。そこで、敬老会にはお祝いに収穫したもち米でお赤飯を炊いてプレゼント。雪祭りには地区の人と餅つき大会をしてぜんざいをつくる。収穫祭でついた餅も一人暮らしのお年寄りに配っているという。子どもたちは収穫したカボチャでハロウィンのパーティを催したり、稲わらで正月のしめ飾りをつくったりもしている。

平成14年12月、砺波北部小学校の体育館で行われた第3回目の収穫感謝祭「ウキウキイベント&もちつき大会」は子どもたち、学校関係者、PTAだけでなく地域住民も大勢参加し、大盛況である。体育館と校舎の間のテントでは朝から公民館のメンバーやPTAの人たちが農場で採れたもち米を洗い、次々に蒸していく。その間に体育館のなかでは子どもたちが「ウキウキイベント」を開催。出し物は学年、あるいは部活単位で、子どもたちが野菜クイズや歌、芝居などを演じる。園児も半被姿でソーラン節を披露した。

そして、いよいよ餅つき大会の始まりだ。公民館のメンバーは、それぞれテント張りやもち米蒸し、餅つき指導、餅の返しなど得意な分野を担当。子どもたちは10グループで計90キロの餅をつくことになる。園児も二人がかりでお餅をつく。ついた餅は、みんなで700人分2,500個の丸餅にまるめる。できたての黄な粉とごまとあんこのお餅をほお張る子どもたちの顔は満足そうだった。

◆成果と今後の課題

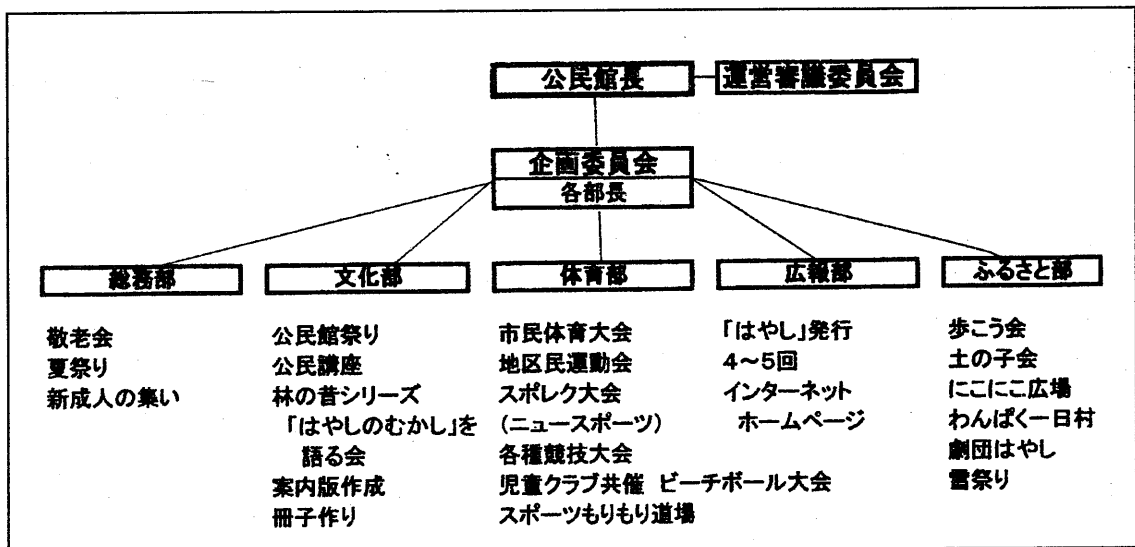
農家の人たちといっしょに作業するため職種や世代を超えた交流が始まった。新しく移り住んできた人たちとのふれあいも自然に行われるようになったという。「知識や技術を子どもたちに伝承する喜びを味わっている」と、農家の人たちからの感触もよい。子どもたち同士の交流も盛んになり、公民館主催の敬老会やお祭りにも積極的に参加。劇に出演したり、昔話の絵本づくりを手伝ったりする子どももいる。

収穫祭などは地域の小学校の体育館を借り、小学校や幼稚園とタイアップして行うため、今では小学校は「開かれた学校」となっている。

学校とタイアップはしているが、子どもたちが「遊び」のなかで学ぶことがポイント。あえてマニュアル化はせず、子どもたちのやりたい気持ちを育てていける活動にしようと考えている。

現在、土の子会で活動している公民館スタッフは働き盛りの40～50歳が中心。こういった活動をきっかけに公民館活動を次世代に継承し、さらに地域づくりに役立てていくつもりだという。

資料1：公民館組織図



資料2：年間活動スケジュール（平成14年度）

平成14年度

林公民館

活動カレンダー

問合せ 32-3874

6月

5日・19日 にこにこ広場
 8日・22日 スポーツもりもり道場
 10日から 偶数日市体練習
 16日 砺波市民体育大会開始 ゴルフ
 23日 砺波市民体育大会
 ゲートボール 水泳
 30日 砺波市民体育大会
 ターゲットバドゴルフ ソフトボール女子
 ビーチボール男女 サッカー
 その他 ふれ愛農場
 じゃがいも土入れ・草むしり・防除

7月

4日 砺波市民体育大会
 バスケットボール男子
 6日 砺波市民体育大会
 バスケットボール女子
 7日 砺波市民体育大会 マーン日
 陸上 ソフトボール男子
 ソフトテニス 卓球 バドミントン
 バレーボール 相撲 柔道 剣道
 テニス グランドゴルフ
 8日・17日 にこにこ広場
 19日 楽しい紙芝居会
 野間成之さんをお迎えして...
 27日 スポーツもりもり道場
 27日 or 28日
チャレンジ！自然体験
 小林広場で竹を使って思っきりまんじゃおう！
 流しそうめん(食器作り)・弓矢・竹トンボ・水鉄砲
 その他 ふれ愛農場随時作業

8月

10日・24日 スポーツもりもり道場
 17日 スポレク祭
 大人&子どもグランドゴルフ大会
林の夏祭り
 ふるさとの夏まつり
 思い出に残るようなお祭りを計画中
 みなさんからのご提案をお待ちしております。
 その他 ふれ愛農場随時作業

9月

1日 **敬老会**
 今年も幼児・小学生も参加 みんなでお祝いします。
 おじいちゃん・おばあちゃんお楽しみに！！
 4日・18日 にこにこ広場
 14日・28日 スポーツもりもり道場
 北部校下級生ターゲットボール大会計画
 その他 ふれ愛農場随時作業

10月

2日・16日 にこにこ広場
 6日 **地区民運動会**
 地区一丸！がんばろう 楽しもう！
 12日 スポーツもりもり道場
 17日～20日 「はやし美術展」開催！
 砺波市美術館 市民アトリエにて
 みなさんの作品をお待ちしております
 26日 or 27日 **紅葉を訪ねて歩こう会**
 その他 ふれ愛農場随時作業
 脱粟・調整・大豆取り入れ

11月

3日～4日 **公民館まつり**
 特別展・パター
 名産売店・取れ立ての農産物
 展覧会・舞台発表
 皆様の特技・ご趣味・おけいこ事をご披露下さい。
 感謝大会
 新入参加大歓迎です。
 6日・20日 にこにこ広場
 11日～16日 ビーチボール練習会
 17日 **地区民ビーチボール大会**
 子どもの部 (親子ビーチボール大会)もあるよ

12月

4日・18日 にこにこ広場
 7日 もちつき大会
 公民館・小学校・幼稚園合同
 みんなで収穫を祝おう！
 31日 歩こう会
 除夜の鐘を撞こう
 東中菩提寺にて

1月

12日 **成人の集い**
 新成人のみなさんおめでとうございます。
 先生を交えて？久しぶりの再開！！
 15日 にこにこ広場
 26日 or 2/9 **雪まつり**
 「雪山・雪波・はやし」だから雪を楽しみたい！
 2月
 2日 砺波市民体育大会
 スキー競技
 5日・19日 にこにこ広場
 3月
 5日・19日 にこにこ広場

その他

アートで遊ぼう・いろいろおもしろ体験
 子どもチャレンジ行事を随時
 (チラシでお知らせします)
 ミニ図書館 *集積センター和室にあります。
 幼児・小学生・一般向けの本が準備されています。
ふれ愛農場
 今年も小学校・幼稚園といっしょにいろいろな作物を植えます。
 土と遊んで収穫の喜び！みんなで楽しもう！

資料3：林公民館による平成10～13年度の主な活動

a.水田の部

石拾い、代かき、田植え、ラヂ転がし、ヒエの見分け方、幼穂形成の観察
 稲刈り、束ねる、干す、ようにする、落穂拾い、脱穀(千歯こきも体験)

収穫のもち米とワラを使って

年 度	内 容
10年度	1月の雪祭りにもちつき大会 ぜんざいと寒もちを作った。 ワラを使って工芸教室で縄ない、ワラ草履、サンダワラなどを作った
11年度	田植え時の「こびれ」に赤飯のおにぎり 敬老会のお祝いに赤飯 12/25に「赤、黄、緑」の三色信号もちを作り、「交通安全 もち、もち、もち大作戦」と称してつくたてのおもちをドライバーに配り交通安全を呼びかけた。 12/19お正月のしめ飾りをワラを使って作った。 1月、雪祭りのもちつき大会でぜんざいを地域の人々に食べて頂いた。
12年度	9/3 敬老会のお祝いに赤飯 9/22 稲刈りの「こびれ」に赤飯おにぎりを作った 9/30 脱穀の時の「こびれ」におはぎを作った。 12/9 第2土曜日、学校と幼稚園は、休日を振り替えて地域の人々にも参加を呼びかけ小学校体育館で収穫感謝祭を行い、ふれあいもちつき大会をした。10個の臼を準備し31臼のもちをついた。参加者およそ1000人。子ども用の杵も準備し全員もちつきを経験した。 1/28 雪祭り 地区の人々ともちつき大会、ぜんざいを作った。 2/25 老人ホームにもちつき慰問に出かけた(のどにかからないように、もちの中に農場でとれた里芋、かぼちゃ、さつまいも入りのもちをついた)
13年度	5/18 田植えの時の「こびれ」の赤飯おにぎり 9/2 敬老会のお祝いに赤飯 9/27 稲刈りの「こびれ」におはぎ 10/9 脱穀の「こびれ」に山菜おこわ 12/8 学校、幼稚園、公民館共同の収穫感謝祭もちつき大会を開催。幼稚園児～4年生全員がもちつきを体験し、5、6年生は、もちを丸めたり、大福を作ったりして、33臼のもちをついた。参加者800人、全員で試食し、一人暮らし老人におもちを持って慰問した。 12月下旬 ワラで正月用シメ飾り作り 2月 ボランティア活動など
11年～ 13年	5月 子どもたちはれんげ草畑で遊んだ。花を摘んで花束にしたり首飾りを作ったり、蜜をすったり思い思いに楽しんだ。

b. 畑の部

年度	作物	内 容
10年度	カボチャ	<p>10/9.10 まなびピア IN 砺波で「土と汗」に学ぶと題して、カボチャ栽培の様子を写真で発表、ジャンボカボチャで作った「ゲゲゲの鬼太郎」のお面が人気、好評を博した。</p> <p>10/31.11/1 公民館祭りに合わせて、ハロウィンパーティ、かぼちやの灯籠を作り、それにロウソクをともしたり、かぼちやクッキーを子どもたちと作ったりした。その中で、子どもたちが、仮装パーティをしてくれた。</p> <p>かぼちやコンクール(形、重さ、色)</p>
11年度	ジャンボスイカ	<p>この年は、7月の長雨、7月下旬からの猛暑で、折角のスイカが腐り始めた。8月に収穫。あまり大きくなかったが、食べきれないほど収穫できた。有機肥料栽培なので、今まで味わったことのないほど甘くて、水々しいスイカだった。</p>
	ケナフ	<p>紙すきを楽しんだ、もみじの葉などを間にはさみ、自然色豊かなハガキが出来た。</p>
	サツマイモ	<p>公民館の歩こう会で200人ほどの地域の人々に石やきいもにして食べてもらった</p> <p>ちびっこ会「にこにこ広場」の子どもたちに「スイートポテト」をおやつにした</p>

12年度	6年生のじゃがいも	切り口の消毒をワラ灰で行った。 収穫後、全校児童にむして試食してもらう。カタクリコ作りにも挑戦した。
	4年生のかぼちゃ	カボチャ蒸しパンとカボチャあんいりのポケモンおやきを作った。 地区の敬老会にもそれを作り参加のお年寄りのおやつとし、喜んでもらった。
	幼稚園 1年生 3年生 にこにこ広場のさつまいも	石やきいもやスイートポテトにして、みんなで試食。さつまいもは歩こう会で石やきいもにして地域の方に食べてもらった。
	2年生の好きな野菜	生活の時間として、登下校時に水をやり収穫して家に持ち帰り、自分の野菜としてきらいだった物も食べるようになったと聞いている。
	公民館のひょうたん、野菜	ひょうたんでランプ、マラカス、置物を作った。作り物をするまでの行程（腐らせて中味を抜く）は大変だったが、その分出来上がりの喜びはひとしおだった。とれたての野菜を地域の人々に食べて頂き喜んでもらった
13年度	学校、幼稚園	昨年と同様
	公民館のハーブ、数珠玉、大豆、野菜	子どもたちとハーブクッキーを作り、敬老会のおやつとした。にこにこ広場で、数珠玉を使ってマラカスを作った。 この後、雪祭りには、冬野菜を使って、豚汁、大豆で豆腐又は納豆作り、数珠玉を使ってお手玉作りにチャレンジする予定。

以上のように、採れた物を年間通して、いろいろな行事に結びつけ、利用し、体験活動をした。

資料4：「土の子会」の活動風景

